

	取るものであり、社会福祉に関する知識と経験を有することが必要。調査結果については、専門的な分析を行う必要があり、ホームレスの自立支援に係る施策の提唱を得るため、福祉行政の知識と経験を併せ持つことが必要。
委 託 期 間	平成 16 年 10 月 19 日 ~ 平成 17 年 3 月 10 日
契約方法 (業者数)	随意契約 (1 者)
委 託 金 額	1,365,000 円 (国庫 10/10)
成 果 の 内 容	ホームレスの 42 人から生活実態等について聴き取り調査を行う。調査結果の分析により、生活保護の適用による居住地の確保と就労支援、福祉と労働部門の連携、巡回相談の実施等が提唱された。 また、住民意識調査を 164 人に実施。ホームレスに対する批判的な考えは少なく、ホームレス対策についての拒否感も大きくなかった。
成果の利活用について関係部課との連携	庁内関係者会議において、調査結果を基に関係各課がどのような対策を講じることができるか協議を行っている。
成果の利活用状況	調査結果を踏まえ、ホームレス対策としてどのような対応を図る必要がある、また可能か検討を行っている。 今回の調査は、本県におけるホームレスの生活実態を明らかにしている貴重な調査結果であることから、今後国における調査結果と比較検討を行うことや本県の特色ある取組の実現に向けて活用したい。

## ⑪ 滋賀県立病院長期経営計画策定調査業務委託

機 関 名	健康福祉部県立病院課	実施年度	平成 14 年度
調 査 研 究 の 目 的	専門的な視点から医療環境や病院特性を調査・分析し、県立病院の役割とあり方を検討するとともに、経営管理上の課題を明らかにし、経営目標を設定する長期経営計画の策定のための調査研究を行う。		
調 査 研 究 の 内 容	県立病院の県下の福祉医療環境での立場、状況を明らかにし問題点、課題等を抽出する。県が蓄積しているデータ等を活用し、必要に応じて院内調査を行い、県立病院が抱えている問題点・課題を明らかにする。 ①病院経営のあり方等の分析 ②経営分析・診断 (県立病院の現状と課題) ③診療科別損益計算書作成指導 ④経営改善策、推進策等の提案 ⑤経営計画素案の作成指導		
外 部 委 託 の 必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境分析、経営分析において調査手法、分析手法について専門的知識、経験が必要。</li> <li>全国的な視点から医療環境、各県立病院の特性等の分析が必要。</li> <li>現状分析において、第三者的立場から各県立病院の長所・短所を厳格に調査・分析することが必要。</li> <li>病院職員に対して、①経営改善の具体策、②経営計画策定、③診療科別損益計算について、助言を行える専門的知識、経験が必要。</li> </ul>		
委 託 期 間	平成 14 年 7 月 1 日 ~ 平成 15 年 2 月 28 日		
契約方法 (業者数)	企画提案コンペ方式 (4 者)		
委 託 金 額	7,723,800 円 (県単独)		
成 果 の 内 容	調査研究内容を『滋賀県立病院「長期経営計画策定調査業務」報告書』としてまとめるとともに、事業年度内に各県立病院職員がメンバーである経営計画策定調整会議へアドバイザーの出席を求め、適宜、経営改善や経営計画策定等のための助言を得た。		
成果の利活用について関係部課との連携	なし		
成果の利活用状況	県立病院中期計画策定のための基礎資料として活用している。 当初「長期経営計画」として長期的な経営方針を確立することを目		

的としていたが、変化の激しい昨今の経営環境を勘案し、中期的な視野での目標管理の徹底を図るため、「中期計画」として、平成17年度に策定。

### ⑫ NHK大河ドラマの誘致に関する調査業務委託

機 関 名	商工観光労働部商業観光振興課	実施年度	平成15年度
調査研究の目的	観光産業の振興、地域経済の活性化の観点から、本県を主舞台とするNHK大河ドラマの誘致を実現するため、必要な事項を調査する。		
調査研究の内容	NHK大河ドラマを誘致するため、テーマや主舞台となるために必要な条件など、制作側の意向を把握し、それを基にプロモート方法の調査を行うとともに、本県にゆかりの深い人物をテーマとするための折衝資料を作成する。		
外部委託の必要性	NHK等のメディア関係者との関わりや映像制作に関する知識、経験からの提言が必要である。広告代理やプロモーション戦略の分野で豊かな経験があり、NHK関係者との関わりがあると考えられる業者に委託した。		
委託期間	平成16年1月26日～平成16年3月26日		
契約方法(業者数)	企画提案コンペ方式(4者)		
委託金額	3,381,000円(県単独)		
成果の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. NHK大河ドラマに関する制作側の状況</li> <li>2. 自治体・団体に対するヒアリング結果</li> <li>3. NHK大河ドラマ誘致による経済波及効果</li> <li>4. NHK大河ドラマ誘致プロモートの方向性</li> </ol>		
成果の利活用について関係部課との連携	(社)びわこビジターズビューロー、県内市町、経済団体、観光関連団体等と連携し、滋賀県大河ドラマ誘致推進協議会を立ち上げ、誘致を要望している。		
成果の利活用状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. NHK大河ドラマの制作傾向、誘致プロモートの方向性を踏まえNHKへのアプローチ</li> <li>2. 滋賀県として大河ドラマの誘致テーマ(人物)の選定</li> <li>3. 折衝資料の要望活動に活用している。</li> </ol>		

### ⑬ エコツーリズム推進事業調査業務委託

機 関 名	商工観光労働部商業観光振興課	実施年度	平成16年度
調査研究の目的	先進地等の課題等について調査を行うとともに、本県の自然資源や環境に配慮した活動を十分調査し、新たな魅力の掘り起こしを行った上で、「滋賀ならではのエコツーリズム」について、推進方策やインタープリターの養成方法について検討を行う。		
調査研究の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 滋賀ならではのエコツーリズムにかかる資源調査 <ol style="list-style-type: none"> <li>①県内の地域資源調査</li> <li>②先進事例の調査</li> </ol> </li> <li>2. 「滋賀ならではのエコツーリズム」の推進方策の取りまとめ</li> <li>3. インタープリターの養成方法等についての取りまとめ</li> <li>4. 検討委員会の委員の委嘱、検討委員会の設置・運営・報告</li> </ol>		
外部委託の必要性	県内の資源の把握を正確に行い、観光振興に関する専門的知識やノウハウからの的確に調査・分析することが不可欠である。		
委託期間	平成16年7月1日～平成17年3月31日		
契約方法(業者数)	企画提案コンペ方式(3者)		
委託金額	2,698,500円(県単独)		

成 果 の 内 容	1. 滋賀ならではのエコツーリズムの考え方 ①滋賀県の特徴 ②滋賀県におけるエコツーリズムの資源や取組 (例) ③「滋賀ならではのエコツーリズム」の考え方 2. エコツーリズムの推進方策 3. 人材育成方策 4. モデルコース例
成果の利活用について関係部課との連携	なし
成果の利活用状況	滋賀ならではのエコツーリズムについての理解と実施を促進するためシンポジウムを開催する。また、専門的なガイドや地域資源をコーディネートする人材は欠くことができないため、ツアーガイドやコーディネーターを養成する基礎講座を開催する。 県の役割として、滋賀県観光施策推進本部を立ち上げ、「滋賀ならではのエコツーリズム」について検討している。

## ⑭ (仮称) びわこバイオステージ構想策定業務委託

機 関 名	商工観光労働部新産業振興課	実施年度	平成 15 年度
調 査 研 究 の 目 的	バイオ産業に関して、本県が取り組むべき分野や課題の整理、振興方策に関する検討および調査を行い、振興指針となるバイオステージ構想を策定する。		
調 査 研 究 の 内 容	1. バイオ関連産業・研究開発の動向把握 2. 滋賀県のポテンシャルを踏まえ、重点的に取り組むべき分野 3. 産業化方策の検討 4. 構想案の作成 5. (仮称) びわこバイオステージ構想冊子の印刷 (100部)		
外部委託の必要性	バイオ産業は、様々な産業分野に関連し、かつ専門性が極めて高い。特に産業振興の指針となる構想を策定するためには、その調査において、バイオテクノロジーの専門知識とともに、高度な企画、調査、分析能力が必要となる。		
委 託 期 間	平成 15 年 9 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 10 日		
契約方法 (業者数)	企画提案コンペ方式 (5 者)		
委 託 金 額	4,935,000 円 (県単独)		
成 果 の 内 容	調査結果をもとにびわこバイオステージ構想を策定した。		
成果の利活用について関係部課との連携	関係団体、機関等へ構想の冊子を配付したほか、関係部課、関係団体等と関連する事業については、必要に応じて情報交換・調整を行い、実施に当たることとしている。		
成果の利活用状況	びわこバイオステージ構想でバイオに関する産業化推進方策を示し、新たに設置する推進組織 (びわこバイオ産業機構) で各方策の具体化を進めることとしている。		

## ⑮ びわこバイオステージ構想重点分野推進事業委託

機 関 名	商工観光労働部新産業振興課	実施年度	平成 16 年度
調 査 研 究 の 目 的	バイオステージ構想に基づいて、バイオに関する産業化を推進していくための推進計画 (アクションプログラム) 策定に向けた調査・検討を行う。		
調 査 研 究 の 内 容	1. 基本的事項の整理 (計画策定趣旨、位置付け 等) 2. 滋賀県におけるバイオテクノロジーに対する基本的考え方の整理 3. 滋賀県におけるバイオテクノロジーの事業化方策の検討		